

体外衝撃波治療



集束型 SHOCK WAVE
DUOLITH SD1 T-TOP ultra
(デュオリス SD1 ウルトラ)

体外衝撃波治療とは

衝撃波を患部に照射する整形外科では新しい治療法です。

照射直後からの除痛効果と、組織の修復作用が期待できます。

＜短期的な除痛効果＞

1. 疼痛を誘発している神経の終末部を破壊します。
2. 痛みにかかわる神経内の伝達物質を減少させる効果があります。

＜長期的な除痛・組織修復作用＞

1. 血管新生により、血流を改善する効果があります。
2. 照射後のコラーゲン産生の亢進による効果があります。

（安全性・リスク）

副作用の事例はほとんど報告されていません。

まれに皮下出血、発赤など照射後に患部に出現することがありますが、いずれも一時的と言われてています。

適応疾患

(保険診療)

足底腱膜炎 難治性：6カ月以上の保存療法（内服薬、湿布、インソール等）の治療を行っても痛みが改善しない方のみ

(自費診療)

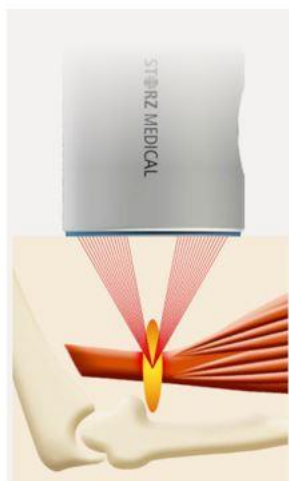
国際衝撃波学会では以下の疾患が対象とされています。

足底腱膜炎（難治性以外）、アキレス腱炎、
アキレス腱付着部炎、膝蓋腱炎、上腕骨外側上顆炎
内側上顆炎、石灰沈着性腱板炎、骨折の偽関節、疲労骨折
早期の離断性骨軟骨炎、早期の骨壊死、舟状骨骨折

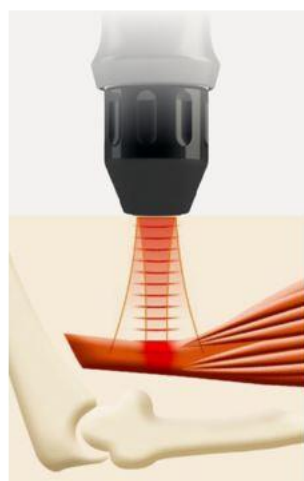
また、弱い照射では骨端線にほとんど影響を及ぼさないので骨端症（オスグッド、シーバー、ラルセン病）などにも有効とされています。野球肘の内側型（いわゆるハクリといわれる内側上顆骨端核障害）での難治例にも期待できます。

拡散型・集束型の違い

当院では、最新機種である集束型の体外衝撃波疼痛装置『DUOLITH®SD1 T-TOP ultra (デュオリス SD1 ウルトラ)』を導入しています。拡散型と違い、兵庫県で導入している施設はまだ限られています。拡散型も治療効果はありますが、集束型の方がエネルギー強度を 10 倍以上強くすることが



集束型体外衝撃波



拡散型圧力波

<https://www.shockwavetherapy-jp.com/information/>

カールストルツ・エンドスコーピー・ジャパン

<https://www.j-mednext.co.jp/product/1908/>

日本メディカルネクスト

料金システム

(保険診療)

★足底腱膜炎

負担金は治療に要した回数にかかわらず初回のみ算定します。
ただし、再発により3ヶ月以上あいて再び治療を再開した場合は負担金が発生します。

1割負担で 5,000円＋初診料 or 再診料

3割負担で 15,000円＋初診料 or 再診料

(自費診療)

★初回 1回 16,500円(税込み)

★2回目以降 1回 5,500円(税込み)

治療・ご予約につきましては来院時、診察の際に医師にご相談

下さい。